

心臓血管外科

研修の概要

心臓血管外科は生命維持の根幹をなす心臓・大血管を対象とする診療科です。その対象疾患は多岐に渡り、従来の開心術に加え、完全鏡視下心臓手術、ステントグラフト、経カテーテル心臓弁治療、補助人工心臓など先進的な治療にも取り組んでいます。当科での研修を通じて医師としてレベルアップできることを保証します！！

習得できる知識や手技

- ・心臓・血管系の構造と機能を理解できる。
 - ・心臓・血管疾患の病因・病態生理を理解できる。
 - ・心臓・血管疾患に関する生理検査・画像検査を理解できる。
 - ・心臓血管外科手術の術前・術後管理を通して、全身管理を学び、心血管作動薬や心不全治療薬の作用・使用方法などを理解できる。
 - ・人工心肺をはじめ、機械的補助循環の原理や適応を理解できる。
 - ・心臓血管外科手術の助手として手術に参加し、基本的な手術手技を理解できる。
- 【経験・習得できる手技】＊研修期間によります。
- ・動脈圧ライン、中心静脈カテーテル、FDLカテーテルの挿入
 - ・心臓超音波検査 ・術後創管理 ・基本的な外科手技 ・閉創（真皮縫合）
 - ・開胸（胸骨正中切開） ・大腿動脈露出

週間スケジュール

月	火	水	木	金
7:30-カンファ 手術 術前術後管理	7:30- 病棟カンファ 術前術後管理	7:30- 術前カンファ(心臓) 手術 術前術後管理	7:30- 術前カンファ(血管) 手術 術前術後管理	7:30- 術後カンファ 手術 術前術後管理

HP アドレス

<https://www.med.oita-u.ac.jp/cvsurg/>

連絡先(担当者)

河島 毅之 t-kawashima@oita-u.ac.jp

【写真】

